

## 板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030の策定方針について

## 1 策定の目的

中学校の部活動は、生徒のスポーツや文化芸術等に親しむ機会を確保するとともに、達成感の獲得、学習意欲の向上、責任感や連帯感の高まり等に寄与するものとして、大きな役割を担ってきた。また、異年齢との交流の中で、生徒同士や教師との人間関係を構築する等の教育的意義に加え、参加生徒の状況把握や意欲向上、問題行動の発生抑制など、学校運営上の意義のあるものでもあった。

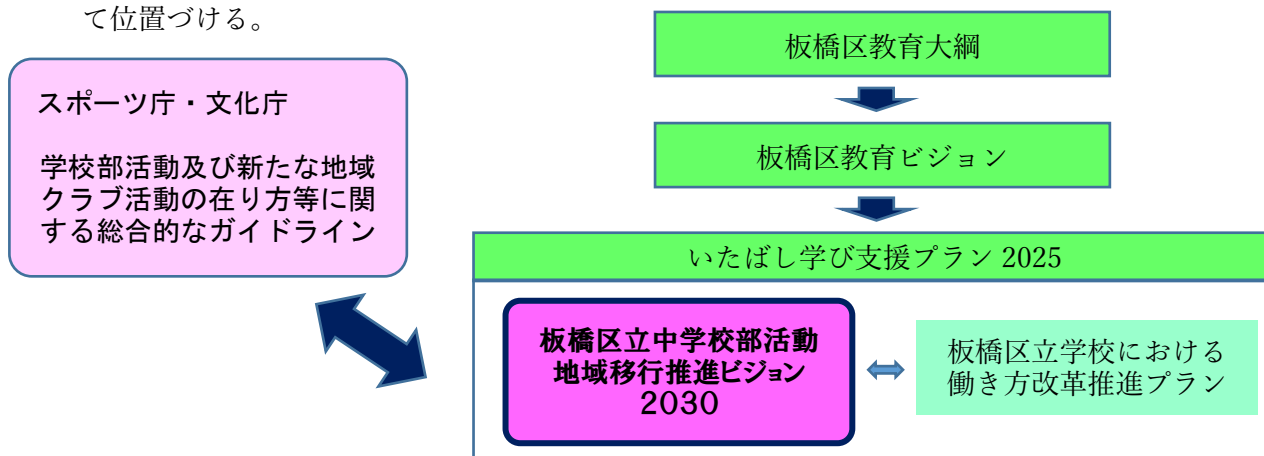
一方で、部活動は、近年、持続可能性の面で厳しさを増している状況にある。少子化が加速する中において、区立中学校全体に係る大きな影響は、まだ顕在化していない。しかし、局所的にみると、小規模校で、生徒数が少ないことによる部活動の停滞が起きているなど、近い将来の少子化の影響の兆しが見え始めている。また、教員の働き方改革推進の視点で見ると、平日の勤務時間外や休日に、指導、引率、大会運営が求められたり、競技経験のない種目の指導を求められたりするなど、教員にとって過大な業務負担となっている実態がある。

そこで、スポーツ庁及び文化庁により示された部活動の地域移行に関する提言に基づき、現行部活動をSDGsの視点で見つめ直すとともに、誰一人取り残すことのない活動として、学校部活動とはまた別の新しい価値を持つ持続可能なクラブ活動を、地域移行という手段により整備する。また、学校部活動の改革を契機として、中学生にとどまらず多様な世代が参加する地域のスポーツ環境及び文化芸術環境の充実を図る機会とし、生涯に渡りスポーツや文化・芸術、学問に親しめる生涯スポーツ社会・生涯学習社会をめざす。

## 2 計画の位置づけ

板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030は、スポーツ庁及び文化庁による「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づく、学校部活動の地域移行に関する推進計画として策定する。

また、いたばし学び支援プラン2025及び板橋区立学校における働き方改革推進プランに基づく、学校における働き方改革及び部活動改革の推進に係る具体的推進計画として位置づける。



### 3 計画期間

板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン 2030（以下「部活動地域移行ビジョン 2030」という。）は、計画期間を令和 6（2024）年度から令和 12（2030）年度までとし、学校部活動の地域移行に関し、2030 年時点で実現したい未来像を設定する。

また、国が定める改革推進期間（令和 5（2023）年度から令和 7（2025）年度まで）における具体的なアクションプログラムを示すため、計画期間を令和 6（2024）年度及び令和 7（2025）年度とする部活動地域移行ビジョン 2030 実施計画 2025 をあわせて策定する。

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
						

### 4 策定の基本的な考え方・方向性

- (1) 部活動の地域移行の推進と、地域移行への過渡期における現行部活動の改善（学校部活動の地域連携）を二本の柱として進める。
- (2) 生徒にとって、これまで以上にスポーツや文化・芸術等を通じて自身が成長を果たせる機会となるよう、新たな視点で新制度を構築する。
- (3) 国が示す改革推進期間の終期である令和 7 年度までに、土日における教員に頼らない指導体制の構築を目指す。
- (4) 部活動の地域移行を、生涯に渡りスポーツや文化・芸術、学問に親しめる生涯スポーツ社会・生涯学習社会のより一層の推進の契機とする。

### 5 SDGs戦略(No.1 プラン 2025 重点戦略)の視点

学校部活動の地域移行については、国の運動部活動及び文化部活動の地域移行に関する検討会議の提言にもあるように、少子化の進行による児童生徒数の減少や教師の大きな業務負担の実態などを通じた学校部活動の持続可能性に対する強い懸念が発端となっている。

また同じく提言において、運動部活動については、指導者の質の向上、勝利至上主義に根差した指導、トーナメントを主流とした全国大会方式による練習の長時間化・過熱化、レギュラー生徒のけがや故障、補欠生徒の出場機会喪失、ジェンダーによる選択種目の制限等の課題があるとされている。

さらには、人生百年時代を標榜する今日において、生涯に渡り、スポーツや文化・芸術活動を楽しもうとする場合、学校教育と社会教育との連続性が課題となることがある。

これらの課題は、2030 年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標である SDG s の考え方との親和性が非常に高い。部活動地域移行ビジョン 2030 の策定にあたっては、単に学校活動を地域活動に置き換えるといった考え方で臨むのではなく、現行部活動が持つ諸課題を一体的に解決できるような取組となるよう整理する。



## 6 検討体制

### (1) 庁内検討組織

検討項目が多岐にわたるため、関係部署が連携し、組織横断的に対策を検討する必要がある。そのため、課長級で構成する板橋区立中学校部活動地域移行庁内検討会を設置し、検討を進める。

### (2) 外部検討組織

学識経験者、スポーツ・文化芸術関係団体、保護者等で構成する板橋区立中学校部活動地域移行検討会議を設置し、助言を得る。

## 7 推進体制

部活動地域移行ビジョン 2030 は、学校部活動改革のその先に、生涯に渡りスポーツや文化・芸術、学問に親しめる生涯スポーツ社会・生涯学習社会をめざすものである。本計画の推進にあたっては、計画策定段階から教育、スポーツ、文化・芸術の関係各課が連携し、進めることとする。

## 8 今後のスケジュール

月		計画工程	会議名	区議会
4	上旬		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区立中学校部活動地域移行庁内検討会</li> <li>■ 区立中学校部活動地域移行検討会議</li> <li>■ 教育委員会</li> </ul>	
	中旬			
	下旬			
5	上旬	策定方針の決定	■ 庁議	
	中旬			
	下旬			
6	上旬			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委員会</li> <li>・ 策定方針報告</li> </ul>
	中旬			
	下旬			
7	上旬	計画骨子調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区立中学校部活動地域移行庁内検討会</li> <li>■ 区立中学校部活動地域移行検討会議</li> </ul>	
	中旬			
	下旬			
8	上旬		■ 教育委員会	
	中旬			
	下旬			
9	上旬	素案調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 庁議</li> <li>■ 区立中学校部活動地域移行庁内検討会</li> <li>■ 区立中学校部活動地域移行検討会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委員会</li> <li>・ 計画骨子（中間のまとめ）報告</li> </ul>
	中旬			
	下旬			
10	上旬		■ 教育委員会	
	中旬			
	下旬			
11	上旬	パブリックコメント募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 庁議</li> <li>■ パブリックコメント募集</li> </ul>	
	中旬			
	下旬			
12	上旬	原案調整	■ 区立中学校部活動地域移行庁内検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委員会</li> <li>・ 素案報告</li> </ul>
	中旬			
	下旬			
1	上旬	計画の決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区立中学校部活動地域移行検討会議</li> <li>■ 教育委員会</li> <li>■ 庁議</li> </ul>	
	中旬			
	下旬			
2	上旬			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 委員会</li> <li>・ 策定報告</li> </ul>
	中旬			
	下旬			
3	上旬	印刷・製本		
	中旬			
	下旬			